快適な車内が魅力、送迎バスに「日産NV350キャラバン」

JRなど公共交通機関を利用して旅行をする人にとって、到着地から旅館・ホテルまでの〝足〟をどうするかは大きな問題だ。そこで頼りになるのが宿の送迎バス。宿側もおもてなしの一環として欠かせない。そのため、バスにもこだわりたいものだ。手入れが行き届いておらず、狭い車両は宿のイメージも悪くする。日産自動車の「NV350キャラバン」はプロの送迎ドライバーの評価も高く、お勧めの車両だ。

ドライバーが高評価

キャラバンは2017年7月にマイナーチェンジされ、レジャーや趣味を楽しむ個人、さまざまな業種の企業・法人など、幅広く乗られている。広く使い勝手の良い室内空間や、安全性・存在感がある外装デザインなども支持されている。特に、広い室内は業界トップクラスを誇る。ハイルーフ、低床で、乗客がゆとりをもって快適に乗降できるのは大きな魅力だ。

安全面の追求も怠りない。運転席から直接確認しにくい死角をカメラモニターで映しサポートする「インテリジェントアラウンドビューモニター」を搭載。

また、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのハンドル操作で車両が横滑りしそうになると、自動的にブレーキとエンジン出力を制御する「VDC（ビークルダイナミクスコントロール）」も搭載している。

ハイルーフ、低床で広い室内、使い勝手良く

さらに、深夜・早朝時に大きな音をたてずにバックドアを全閉できる「バックドアオートクローザー」や、視認性に優れた液晶モニターと大きなスイッチにより操作性を向上させた「オートエアコン＋リヤクーラー」も装備している。

用途によりさまざまなタイプを用意しており、旅館・ホテルの送迎用としては14人乗りのマイクロバスや10人乗りのワゴンが人気だ。

石川・山代温泉は二つの公衆浴場「総湯」「古総湯」を中心とした街並みが旅情を誘う北陸随一の温泉地。「瑠璃光」「葉渡莉」は山代を代表する温泉旅館で、お客さまの送迎に活躍しているのが日産NV350キャラバンだ。ドライバーの評価も高く、旅館のイメージアップにも一役買っているという。萬谷浩幸社長、車輌係長の千利濱幸男さんに取材した。

「瑠璃光」で送迎に活躍する日産キャラバン

キャラバンユーザーが技術の進化を体験

車輌係長　千利濱　幸男さん

乗り心地と広い室内、低床は大きな魅力

死角サポートモニターで安心

18歳で免許を取って、40年になります。入社して11年、車両担当一筋です。お客さまに気持ち良く乗っていただくことを心掛けています。「コップの水をこぼさないように走る」のがモットーです。

当館の送迎車は大型バスやマイクロバス、バンタイプを複数利用しています。バンタイプには日産NV350キャラバンも使用しています。

キャラバンは「瑠璃光」と「葉渡莉」の往復送迎など少しの移動では、専任ドライバー以外のフロントや営業マンも運転します。

当館には他のメーカー車もありますが、フロントや営業マンのキャラバンの利用率がとても高く、それだけ運転しやすいということでしょう。

キャラバンはハンドルが軽く、出足もいい。アクセルワークも楽ですね。運転席の高さもちょうどよく、女性ドライバーにとっても視界が確保しやすいと思います。

室内も広く、ゆったりと座れ、使い勝手も良い。足腰が弱い高齢者にとっては低床で乗りやすいというのもありがたいですね。インテリジェントアラウンドビューモニターは左前方や後方の状況が良く分かるので安心してバックができる。プロドライバー以外の、運転にあまり慣れていない人にとっても心強い。

キャラバンにはハイルーフ、乗り降りしやすいオートステップ、そしてインテリジェントアラウンドビューモニターなど、お客さまを快適、安全に送迎できる機能・装備が充実しているので重宝しますね。

コストパフォーマンスを評価

送迎は接客の一環、旅館の顔

瑠璃光・葉渡莉　社長
萬谷　浩幸さん

加賀温泉郷の中で山代温泉は旅館の数が22軒と多く、規模もさまざま。お客さまの多種多様なニーズにこたえることができます。二つの公衆浴場、「総湯」と「古総湯」を中心とした街並み（湯の曲輪）が大きな特徴で、そのほか、九谷焼のふるさとであり、「あいうえお」ゆかりの土地でもあります。

ここ山代に「瑠璃光」「葉渡莉」の2軒を経営しています。瑠璃光は大型で、全国的な知名度もあり、法人や高額のお客さまを受け入れています。葉渡莉はこじんまりとした造りで、山代の伝統を重んじており、家族や外国人のお客さまの利用が多いですね。

日産NV350キャラバン導入のきっかけはコストパフォーマンスの良さ。また、小回りが利いて、かつ広い室内で多人数が乗れるのも魅力です。葉渡莉はこじんまりとした造りで、山代の伝統を重んじており、家族や外国人のお客さまの利用が多いですね。

私も乗ってみましたが、乗り心地が良く、バランスが優れているというのが率直な印象です。

キャラバンは現在2台あり、JR加賀温泉駅からの送迎のほか、瑠璃光と葉渡莉の「湯巡り」などで使用しています。

北陸新幹線開業で首都圏からのお客さまが増えました。

必然、加賀温泉駅から送迎を希望するお客さまも増え、キャラバンはその足として大きな役目を果たしています。外国人旅行者は荷物も大きく、広い室内はとてもありがたいですね。

送迎ドライバーはお客さまと最初に接する、いわば旅館の顔ですので、接客には細心の注意を払うよう指導しています。

日産 NV350 キャラバン（車両外観写真と内装写真は、別の車で撮影したものになります）

写真はマイクロバスGX（14人乗り）。スーパーロングボディ　ワイド幅　ハイルーフ　低床。
14名がゆとりをもって快適に乗車できるマイクロバス型。この他にも10人乗りの「ワゴン」、荷物を運ぶための「バン」仕様など多彩なバリエーションを持ち、幅広いビジネスニーズに応える。

全国の日産ビジネスカー認定店で
日産キャラバン体感フェア開催！
11/15（木）～18（日）
オリジナル手ぬぐい試乗でプレゼント！
詳しくはこちら
http://www.nissan.co.jp/SP/NV350CARAVAN/TRY/

■ハイルーフならではの開口高1580ミリを実現し、長身でもスムーズな乗り降りが可能

お客さまの送迎に最適な装備が充実

■全方位モニターで死角をサポート

先進の安全装備

インテリジェントアラウンドビューモニターは、上空から自車を見下ろしているかのような映像をディスプレイに映し出すもの。運転席からでは直接確認しにくい左前方や後方の状況もひと目で分かるため、安全でスムーズな運転、駐車が可能だ。

■クッション幅905ミリの広々シートで、長時間の乗車も快適

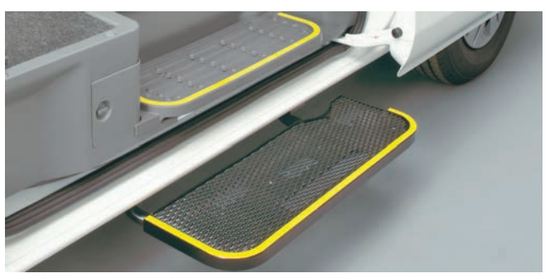
■スムーズな乗り降りを実現する折りたたみシート

高齢客にオートステップ装備

ステップの高さは、乗り降りを困難にするが、スライドドア開閉に連動して出てくるオートステップによって、地面との段差を少なくし、乗り降りする際の足腰の負担を軽減することができる。

また、ステップは奥行きがあり、かかとまでしっかり踏み込めるので安心。

旅館やホテルの送迎利用者の多くを占める高齢の利用客や小さな子どもにも安心の装備だ。



■乗り降りしやすいオートステップ